晴れやかな笑顔で行列

秋の藤原まつり稚児行列

11月１日から３日まで秋の藤原まつりが開催されました。期間中には稚児行列や中尊寺能、毛越寺延年の舞など多彩な行事が催されました。

このうち１日に中尊寺で開催された稚児行列には、春の藤原まつりが中止となったこともあり、町内から例年より多い幼児46人が参加。愛らしい姿をした子どもたちが保護者に手を引かれ、紅葉映える参道を練り歩き、まつりに花を添えました。

伝統工芸の技と魅力を発信

ON‐ＬＩＮＥ（オンライン）五感市

ものづくりの現場を公開する「オープンファクトリー『五感市』」が、本年は動画配信により工房の様子などを紹介する「ON‐ＬＩＮＥ五感市」として10月30日から11月１日まで開催。最終日の収録で翁知屋の佐々木優弥実行委員長は「動画作成は試行錯誤の連続でしたが、海外の視聴者から質問が来るなど新たな発見があった」と開催を振り返りました。

伝統工芸などの魅力を紹介する動画は12月末まで「ON‐ＬＩＮＥ五感市」のホームページで視聴できます。

小野寺さんと阿部さんが受章

令和２年秋の叙勲

令和２年秋の叙勲で、一関職業訓練協会長の小野寺利美さん（11区）が瑞宝双光章（職業訓練功労）を、元町消防団第２分団長の阿部保夫さん（１区）が瑞宝単光章（消防功労）を受章し、11月６日と13日にそれぞれ町役場を訪れ、青木町長に受章の報告をしました。

小野寺さんは工務店を営む傍ら一関高等職業訓練校の講師として長年務め、平成26年から同校の校長と一関職業訓練協会長として奮闘され、長きにわたり地域の若手技術者育成に尽力されました。小野寺さんは「支えてくれた理事や地域の皆さん、家族のおかげで受章できた。感謝したい」と話していました。

また阿部さんは昭和39年に消防団に入団以来、平成14年３月に退団するまでの37年間、副分団長、分団長などを歴任。長きにわたり消防業務に精励し、地域社会の安寧に寄与されました。阿部さんは「先輩はもとより地域の人たちのおかげで受章できた。今後も引き続き消防活動に邁進し、消防団の発展に貢献していきたい」と話していました。

写真上／受章を報告する小野寺さん（11区）
写真下／受章を報告する阿部さん（１区）

ドローンの活用につなげて

真柴商会株式会社がドローンを寄贈

11月９日、真柴商会株式会社（金ケ崎町）の菅谷忠寿代表取締役が役場を訪れ、青木町長に寄贈するドローン１機を手渡しました。この寄贈は、同社がドローンの操縦者の養成スクールを管理する団体に認定されたことから、県内でドローンスクールを設置する団体を呼び掛けるために実施。菅谷代表取締役は「ドローンは大きさもさまざまで農薬散布や空撮影など幅広い分野で利用可能。安全な操作技術を身に付けて活用していただきたい」と話していました。

秋の夜空に鮮やかな紅葉

中尊寺「紅葉銀河2020」

紅葉が始まった中尊寺で10月30日から11月15日まで、境内の木々をライトアップして美しく浮かび上がらせる「紅葉銀河2020」が開催されました。2017年に企画してから４年目を迎えた今年は、境内にある旧覆堂前でチェロとアコーディオンによる奉納ライブも31日に合わせて開催されました。

参道沿いの木々や諸堂が照明によって色鮮やかに照らし出され、期間中訪れた多くの参拝客は幻想的な夜の紅葉を楽しんでいました。

防犯灯10基を町に寄贈

東北電力ネットワーク株式会社

11月16日、東北電力ネットワーク株式会社一関電力センターの阿部好典所長（写真中央）と株式会社ユアテック一関営業所の後藤桂司所長（写真右）が役場を訪れ、青木町長に発光ダイオード（ＬＥＤ）防犯灯10基と取り付け工事一式を寄贈する目録を手渡しました。この寄贈は、同社が安全で明るい町づくりに向けた取り組みを支援することを目的に定期的に実施。青木町長は「明るい地域社会を形成するためにも有効に使わせていただく」と感謝しました。

地域農業の発展に貢献

駒形さんに表彰状

駒形和宣さん（14区）が県農業会議より永年勤続表彰を受賞しました。新型コロナウイルスの影響で県農業委員大会が中止となったため、11月18日に役場で町農業委員会の千葉会長より表彰状が贈呈されました。

駒形さんは、平成17年７月から本年７月までの15年の長きにわたり町農業委員を務め、地域農業の健全な発展に大きく貢献され、その功績が認められての今回の受賞となりました。